

農業を守ることは原点

江津 垣内比例予定候補が集いで交流



日本共産党中国ブロックのひまわりキャラバンで、垣内京美衆院中国比

例予定候補は7月26日、江津市で街頭宣伝を行い、集いにも参加し交流しました。

ひまわりバッチを身に付けて自己紹介した垣内氏は「香川県の農家の生まれです。(国の名勝に指定されている)『満濃池』の近くで田畑(8反)を作っていました。現在は後継者不足で荒廃地となっており、胸が痛みます。農業を守ることは自分にとって原点です」と語りました。

参加者からは、食料自給率の向上について意見が寄せられ、日本海側の海岸浸食対策や海洋ごみ対策、危険空き家対策などについて要望が出されました。(写真)

原発ゼロの決断必要

出 国政・市政報告の集い 亀谷氏が訴え

日本共産党の亀谷ゆう子衆院島根2区予定候補は7月21日、出雲市で開かれた「国政・市政報告の集い」(主催・斐川東支部)で21人と語り合いました。

亀谷氏は、5月に島根県委員会が実施した能登

垣内氏は、支部との党勢拡大行動にも参加。市営住宅で3人の入居者と対話し、「困った時は日本共産党へご相談を」と訴え、しんぶん赤旗の購読を呼びかけました。

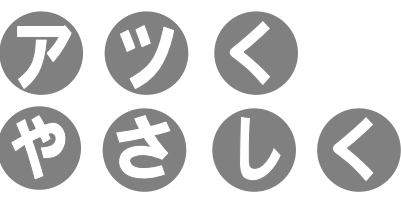
半島地震の視察・調査について報告。7月9、10日に大津市の現地調査にもふれ、「原子力災害時の広域避難計画の脆弱(ぜいじゃく)性があらわになった。どれだけ対策を施しても原発事故のリスク

核兵器廃絶の先頭に立つ

映画『オッペンハイム』は皆さん、ご覧になりましたか。原子爆弾開発への「マンハッタン計画」と彼の半生を描いた



大平よしのぶ 衆院議員



作品。その内容や評価は述べませんが、ただ一点、原爆の実験が成功し開発者たちが歓喜に沸くシーンは、怒りと悲しみがこみ上げとても見られませんでした。

決して昔話、歴史の話だと思えないのです。今年5月、バイデン政権はまたしても臨界前核実験を強行し、そして米議会ではある議員が「原爆投下は正しい判断だったと思うがどうか」と質問、国防長官も同意をしました。なんとという時代錯誤か。加えて許しがたいのは、岸田政権はこのいずれにも抗議の声一つあげられないということです。

ひとりの人生を奪い、壊してきたのか。いま広島で再びたたかわれている原爆「黒い雨」第二次訴訟の副団長、大畑忍さん(87歳)は爆心地から23キロ離れた旧友和村(ゆうわそん)で黒い雨にあいました。両目の白内障や肺線維症、血小板減少症など放射線の影響だと思われる病気に苦しみ続けてこられました。人々の健康を時空を超えて脅かし続ける原爆の破壊力、非人道性。そしてそれでも大畑さんもまた被爆者と認められず、戦後もななく80年を迎えようというのにもまだ裁判でたかなければならぬという、これもまた人道に反する一もろろん法律にも反すると私た

ちは確信しています。一重ね重ね許しがたい日本政府の姿勢です。もちろん、ロシア・プーチン大統領もウクライナ侵攻を続け、戦術核兵器の演習を行い、繰り返して核兵器使用をちらつかせていることもまた断じて許されません。一方で、核兵器禁止条約が発効し二度の締約国会議をへて市民のたたかいとともに核兵器国の手をきつく縛っていることもまた明確な事実です。まさにせめぎあいの情勢。7年前の7月、国連本部で核兵器禁止条約の成立に立ち会ったものの一人として、この点でも岸田政権と対峙し、変える先頭に立たねばと決意をしています。(7月24日記)

はなくならない。原発ゼロの決断が必要だ」と訴



えました。(写真) 物価高騰や高すぎる学費の問題に関する質問・意見には、日本共産党が提案している「経済再生プラン」を紹介し、「財界のようけ最優先の自民党政治のゆがみをただし、賃上げや教育費軽減、社会保障の充実、省エネ・再エネ推進で原発ゼロにして、希望ある新しい日本をつくらう」と呼びかけました。

参加者からは「12月以降、紙の健康保険証はどうなるのか」「東京都知事選の結果をどう見ているか」などの疑問が出され、語り合いました。

地域の話題

家族農業支援を

出 田食議員が要望

田食町議は食料・農業・農村基本法改定案は、新規就農者への支援もなく、家族農業や兼業農家は奥出雲町でも重要な担い手であるにも関わらず、差別的な扱いになっていると指摘し、糸原保町長の見解を質しました。

また、産直出荷で問題となっている漬物製造施設整備や新しいパークコード発行機購入に対する補助金交付制度の創設を求めると、糸原町長は「今回の補正予算に計上している」と答弁しました。

田食町議は、家族農業なくして本町の農業は存続

アムロム

飯 南 クリーニングセンター設置

伊藤議員が要求

伊藤議員「気候変動適応法が改正され、市町村長が①冷房施設を有する等の要件を満たす施設を暑熱避難施設(クリーニングセンター)として指定すること②民間団体等を熱中症対策普及団体として指定することとされた。本町でどう進めるのか、民間施設の協力も必要だが、どう対応するのか。

塚原町長「いつでも誰でも利用できるクリーニングセンター指定を町内の公共施設について具体的に検討を始める。(伊藤

好晴の議会報告」より)

江津 訪問介護報酬・請願 継続審査に

6月市議会には、介護報酬に関わる請願が提出されましたが、総務民生委員会審査されたものの、結論を出さず継続審査になりました。「訪問介護の基本報酬引き下げ撤回等と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書提出に関する請願」は、しまね自治労連、しまね介護福祉ユニオンBONDSが提出。今年4月からの介護報酬改定で報酬が引き下げられたことにより、在宅介護の継続が困難になるとしています。日本共産党江津市議団の多田伸治市議が紹介議員となりました。(「こう」民報」より)

大平よしのぶ元衆院議員は、総選挙での比例議席奪還に向けて、SNSでの発信を強めています。スマホで左のQRコードを読み込んで、ぜひチェック・フォローしてください。

大平よしのぶをスマホでチェック

QRで各種SNSへGO!